

令和6年度使用
小学校用教科用図書
採択参考資料

社 会

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	社会 305・405・505・506・605・606
17 教出	社会 307・407・507・607
116 日文	社会 308・408・508・608

社 会

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 17 教出 116 日文

2 調査研究の観点

- (1) 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容であるか。
- (2) 地域の実情に応じた学習を行うことができるよう配慮されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 表記や表現、各種の資料が適切であり、資料が活用されやすいよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるように配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいように配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(3)
 - ① 総頁数・サイズ
 - ② 単元別頁数
 - ③ デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること…………… 観点(1)
- (3) 問題解決的な学習の充実に関すること…………… 観点(2)(3)
- (4) 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること…………… 観点(1)(2)(3)
- (5) 教材や資料の選択に関すること…………… 観点(2)(4)

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

	3年	4年	5年上	5年下	6年政治・国際編	6年歴史編
新しい社会 A B判	139	167	123	127	111	159

(2) 単元別頁数

学年	単元名	頁	割合	学年	単元名	頁	割合	
3年	わたしたちのまちみんなのまち	32	23%	6年政治・国際編	私たちの生活と政治	52	47%	
	はたらく人とわたしたちの暮らし	48	35%		世界の中の日本	48	43%	
	暮らしを守る	28	20%		その他	11	10%	
	市のうつりかわり	22	16%		6年歴史編	縄文のむらから古墳のくにへ	16	10%
	その他	9	6%			天皇中心の国づくり	12	8%
4年	わたしたちの県	16	10%	貴族の暮らし		8	5%	
	住みよいくらしをつくる	40	24%	武士の世の中へ		12	8%	
	自然災害から暮らしを守る	22	13%	今に伝わる室町文化		8	5%	
	きょう土の伝統・文化と先人たち	36	22%	戦国の世から天下統一へ		12	8%	
	特色ある地いきと人々の暮らし	36	22%	江戸幕府と政治の安定		14	9%	
	その他	17	10%	町人の文化と新しい学問		12	8%	
5年上	わたしたちの国土	58	47%	明治の国づくりを進めた人々		14	9%	
	わたしたちの生活と食料生産	58	47%	世界に歩みだした日本		12	8%	
	その他	7	6%	長く続いた戦争と人々の暮らし		14	9%	
5年下	わたしたちの生活と工業生産	48	38%	新しい日本、平和な日本へ	14	9%		
	情報化した社会と産業の発展	36	28%	その他	11	7%		
	わたしたちの生活と環境	40	32%					
	その他	3	2%					

※その他は、目次、「まなび方コーナー」等の資料の頁数

(3) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	3年	4年	5年上	5年下	6年政治・国際編	6年歴史編
二次元 コードの数	39	42	36	29	25	30

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての学年において、用語・語句が「ことば」として説明とともに示されている。
- 全ての学年において、巻末に用語・語句等が一覧で示されている。
- 全ての学年において、学習を進める上での技能を示した「学び方コーナー」がある。
- 全ての学年において、二次元コードの先に、「SDGsわたしたちがつくる未来」の特設ページが設定されている。

3 問題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての学年において、「学習の進め方」があり、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という問題解決的な学習の流れが示されている。
- 全ての学年において、単元ごと、1時間ごとの問いの例が示されている。
- 全ての学年において、社会的事象の見方・考え方がキャラクターの吹き出しで示されている。
- 全ての学年において、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりする「いかす」が設けられている。
- 全ての学年において、単元末に「まとめる」があり、言語活動の例が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

- 第3学年
 - ・「市の様子の移り変わり」について、人口増加、高齢化、国際化に関する記述がある。(事例地：兵庫県明石市)
 - ・地図記号の説明に、該当する施設等の写真が示されている。
- 第4学年
 - ・「自然災害から人々を守る活動」について、風水害(千葉市)が取り上げられている。また、児童の実態に応じて扱うことが可能な「ひろげる」として、地震・津波災害(和歌山県和歌山市)、火山災害(長野県王滝村)が取り上げられている。
 - ・国際交流に取り組んでいる地域の事例地として仙台市が取り上げられている。
- 第5学年
 - ・「領土の範囲」について、「領土をめぐる問題」において、竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることが示されている。
 - ・「我が国の産業と情報との関わり」について、販売が取り上げられている。また、「ひろげる」として、運輸、観光、医療、福祉が取り上げられている。
- 第6学年
 - ・「国や地方公共団体の政治」について、市(区)役所や町(村)役場、県庁が、国と協力して政策を実行したり救助活動を行ったりしている事例として、さいたま市(社会保障)、宮城県気仙沼市(復旧や復興)が取り上げられている。
 - ・「グローバル化する世界と日本の役割」について、我が国の国際協力に関する事例として中村哲、青年海外協力隊が取り上げられている。
 - ・「領土の範囲」について、「新しい日本、平和な未来へ」において、竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることが示されている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての学年において、地図や写真、図や表といった資料が示されている。資料と「学び方コーナー」が併せて示されているところがあり、資料の読み取り方等を確認することができるようになっている。
- 全ての学年において、専用サイトから資料や情報を得ることができる二次元コードが示されている。(二次元コードとURLが掲載されている。)
- 全ての学年において、選択して取り上げることとされている内容が「どちらか一つを選んで学習しましょう。」として示されている。また、児童の実態に応じて扱うことが可能な「ひろげる」が示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り込められている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

	3年	4年	5年	6年
小学社会 AB判	175	215	259	295

(2) 単元別頁数

学年	単元名	頁	割合	学年	単元名	頁	割合
3年	わたしたちのまちと市	38	22%	6年	ともに生きる暮らしと政治	58	20%
	はたらく人とわたしたちの暮らし	48	27.5%		国づくりへの歩み	16	5%
	地いきの安全を守る	34	19.5%		大陸に学んだ国づくり	16	5%
	わたしたちの市の歩み	32	18%		武士の政治が始まる	10	3%
	その他	23	13%		室町文化と力をつける人々	8	3%
4年	県の地図を広げて	14	7%		全国統一への動き	14	5%
	健康な暮らしとまちづくり	52	24%		幕府の政治と人々の暮らし	12	4%
	自然災害にそなえるまちづくり	34	16%		新しい文化と学問	16	5%
	地域で受けつがれてきたもの	16	7%		明治の新しい国づくり	14	5%
	昔から今へと続くまちづくり	30	14%		近代国家を目ざして	20	7%
	わたしたちの県のまちづくり	52	24%		戦争と人々の暮らし	16	5%
	その他	17	8%		平和で豊かな暮らしを目ざして	18	6%
5年	日本の国土とわたしたちの暮らし	52	20%		世界の中の日本	50	17%
	未来を支える食料生産	62	24%	その他	27	9%	
	未来をつくり出す工業生産	52	20%				
	未来とつながる情報	34	13%				
	国土の自然とともに生きる	40	15%				
	その他	19	7%				

※その他は、目次、「社会科の学習の進め方」等の資料の頁数

(3) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	3年	4年	5年	6年
二次元 コードの数	38	50	42	63

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての学年において、用語・語句が「キーワード」として示されている。その他に「解説」として、説明とともに示されている用語・語句がある。
- 全ての学年において、巻末に用語・語句等が一覧で示されている。
- 全ての学年において、学習を進める上での技能を示した「学びのてびき」が設定され、第3学年においては、「わくわく社会科ガイド」が設定されている。
- 全ての学年において、「SDGsとつながって考えよう」が設定されている。

3 問題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての学年において、「社会科の学習の進め方」があり、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という問題解決的な学習の流れが示されている。
- 全ての学年において、単元ごと、1時間ごとの問いの例が示されている。
- 全ての学年において、社会的事象の見方・考え方がキャラクターの吹き出しで示されている。
- 全ての学年において、社会への関わり方を選択・判断する「つなげる」が設けられている。
- 全ての学年において、単元末に「まとめる」があり、言語活動の例が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

- 第3学年
 - ・「市の様子の移り変わり」について、少子化、高齢化、人口増加、人口減少、国際化に関する記述がある。(事例地：横浜市)
 - ・地図帳の使い方が示されている。
- 第4学年
 - ・「自然災害から人々を守る活動」について、地震・津波災害(静岡県・静岡市)が取り上げられている。また、「せんたく」として、風水害(新潟県三条市)、火山災害(北海道伊達市)、雪害(秋田県秋田市)が取り上げられている。
 - ・「県内の特色ある地域の様子」における、国際交流に取り組んでいる地域の事例地として福岡市が取り上げられている。
- 第5学年
 - ・「領土の範囲」について、「日本の国土はどこまで？」において、竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることが示されている。また、「未来を支える食料生産」でも、領土に関する課題が取り上げられている。
 - ・「我が国の産業と情報との関わり」について、販売が取り上げられている。また、「せんたく」として、観光、医療、福祉、運輸が取り上げられている。
- 第6学年
 - ・「国や地方公共団体の政治」について、市(区)役所や町(村)役場、県庁が、国と協力して政策を実行したり救助活動を行ったりしている事例として、浜松市(社会保障)が取り上げられている。また、「せんたく」として、岩手県釜石市(復旧や復興)、札幌市(開発や活性化)が取り上げられている。
 - ・「グローバル化する世界と日本の役割」について、我が国の国際協力に関する事例として中村哲、青年海外協力隊が取り上げられている。
 - ・「領土の範囲」について、「平和で豊かな暮らしを旨として」「世界の中の日本」において、竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることが示されている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての学年において、地図や写真、図や表といった資料が示されている。資料と「学びのてびき」が併せて示されているところがあり、資料の読み取り方等を確認することができるようになっている。
- 全ての学年において、専用サイトから資料や情報を得ることができる「まなびリンク」が示されている。(二次元コードとURLが掲載されている。)
- 全ての学年において、選択して取り上げることとされている内容が「せんたく」として示されている。また、児童の実態に応じて扱うことが可能な「もっと知りたい」が示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

	3年	4年	5年	6年
小学社会 AB判	165	211	287	281

(2) 単元別頁数

学年	単元名	頁	割合	学年	単元名	頁	割合
3年	わたしたちの住んでいるところ	34	21%	6年	わが国の政治のはたらき	50	18%
	わたしたちの暮らしとまちではたらく人々	48	29%		大昔の暮らしとくにの統一	16	6%
	安全な暮らしを守る	32	19%		天皇を中心とした政治	14	5%
	市のように暮らしのうつりかわり	28	17%		貴族が生み出した新しい文化	6	2%
	その他	23	14%		武士による政治のはじまり	10	4%
4年	わたしたちの県	14	7%		今に伝わる室町の文化と人々の暮らし	8	3%
	健康な暮らしを守る仕事	48	23%		戦国の世の統一	12	4%
	自然災害から人々を守る活動	38	18%		武士による政治の安定	10	4%
	地いきの伝統や文化と、先人のはたらき	48	23%		江戸の社会と文化・学問	14	5%
	わたしたちの住んでいる県	32	15%		明治の新しい国づくり	12	4%
	その他	31	15%		国力の充実をめざす日本と国際社会	14	5%
5年	日本の国土と人々の暮らし	56	20%		アジア・太平洋に広がる戦争	18	6%
	わたしたちの食生活を支える食料生産	66	23%		新しい日本へのあゆみ	14	5%
	工業生産とわたしたちの暮らし	56	20%		世界のなかの日本とわたしたち	38	14%
	情報社会に生きるわたしたち	42	15%		その他	45	16%
	国土の環境を守る	42	15%				
	その他	25	9%				

※その他は、目次、「この教科書の使い方」等の資料の頁数

(3) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	3年	4年	5年	6年
二次元 コードの数	93	102	177	189

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての学年において、用語・語句が「キーワード」「むずかしいことば」として説明とともに示されている。
- 全ての学年において、巻末に用語・語句等が一覧で示されている。
- 全ての学年において、学習を進める上での技能を示した「学び方・調べ方コーナー」が示されている。
- 全ての学年において、「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」が設定されている。

3 問題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての学年において、「社会科の学習の進め方」があり、「スタート」「問題を追究」「解決」「新たな疑問」「問題を追究」「役だてる」という問題解決的な学習の流れが示されている。
- 全ての学年において、単元ごと、1時間ごとの問いの例が示されている。
- 全ての学年において、社会的事象の見方・考え方がキャラクターの吹き出しで示されている。
- 全ての学年において、社会への関わり方を選択・判断する学習につながる「さらに考えたい問題」が示されている。
- 全ての学年において、単元末に言語活動の例が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

- 第3学年
 - ・「市の様子の移り変わり」について、少子化、高齢化、国際化に関する記述がある。(事例地：埼玉県川越市)
 - ・地図帳の使い方が示されている。
- 第4学年
 - ・「自然災害から人々を守る活動」について、風水害(東京都)が取り上げられている。また、「せんたく」として、地震災害(神戸市)、津波災害(和歌山県)、「学習資料」として、火山災害(宮崎県高原町)、雪害(青森県弘前市)が取り上げられている。
 - ・「県内の特色ある地域の様子」における、国際交流に取り組んでいる地域の事例地として岡山県倉敷市が取り上げられている。
- 第5学年
 - ・「領土の範囲」について、「領土をめぐる問題」において、竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることが示されている。
 - ・「我が国の産業と情報との関わり」について、販売が取り上げられている。また、「せんたく」として、観光、医療・福祉が取り上げられている。
- 第6学年
 - ・「国や地方公共団体の政治」について、市(区)役所や町(村)役場、県庁が、国と協力して政策を実行したり救助活動を行ったりしている事例として、足立区(社会保障)が取り上げられている。また、「せんたく」として広島県・広島市(復旧や復興)、熊本県水俣市(開発や活性化)が取り上げられている。
 - ・「グローバル化する世界と日本の役割」について、我が国の国際協力に関する事例として青年海外協力隊、国境なき医師団が取り上げられている。
 - ・「領土の範囲」について、「新しい日本への歩み」において、竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることが示されている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての学年において、地図や写真、図や表といった資料が配置されている。資料と「学び方・調べ方コーナー」が併せて示されているところがあり、資料の読み取り方等を確認することができるようになっている。
- 全ての学年において、専用サイトから資料や情報を得ることができる。「教科書デジタルコンテンツ」が示されている。(二次元コードが掲載されている。)
- 全ての学年において、選択して取り上げることとされている内容が「せんたく」として示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り込められている。